

入間市扇台福祉作業所

平成29年度



設置主体 入間市

運営団体 入間市社会福祉協議会

所在地 〒358-0023
入間市扇台2丁目7番26号
TEL 04-2962-5308・FAX04-2962-5458

設置目的 就労能力の限られている心身障害者に、自活に必要な職業訓練、生活指導等を行い、もって社会的自立の助長を図ることを目的とします。

設 置 入 間 市

管理運営 社会福祉法人 入間市社会福祉協議会

施設概要

- 定 員 19名
- 対象者 入間市に住所を有する15歳以上の心身障害者
- 利用時間 午前9時～午後4時
- 休 日 土・日・祝日・年末年始
- 規 模 敷地面積 985㎡
延床面積 424.17㎡

沿革

- 昭和49年4月 入間市けやきの会(現入間市手をつなぐ親の会)が旧国立病院隔離病棟の一室(現市民活動センターのところ)を市から借用し、「入間市けやきの会作業所」を設立。
- 昭和50年4月 市の区画整理事務所(扇台2-7-26)の一室を借用し移転。
- 昭和58年4月 「入間市けやきの会作業所」が入間市に移管され、名称を「入間市扇台福祉作業所」に改称、運営管理は社会福祉法人入間市社会福祉協議会が受託。
- 平成 5年6月 入間市扇台福祉作業所改築工事のため旧入間市老人福祉センター(やまゆり荘 宮寺15-1)の施設で作業開始。
- 平成 5年7月 入間市扇台福祉作業所改築工事着工。
- 平成 6年3月 入間市扇台福祉作業所改築工事竣工。
- 平成 6年4月 同上施設で作業開始。
- 平成18年4月 入間市より受託業務から指定管理者に移行される。
(期 間 平成18年4月1日～平成21年3月31日)
- 平成21年4月 入間市より指定管理者に再指定される。
(期 間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)
- 平成26年4月 入間市より指定管理者に再指定される。
(期 間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)



基本理念

利用者一人ひとりの人権を尊重し主体的な活動の支援を行います。

基本方針

1. 利用者個々の能力に応じた社会適応性と自立心を育成するよう支援します。
2. さまざまな作業を通じて、造る喜び、技術の習得、作業能力、責任感の向上が図れるよう支援します。
3. 利用者が毎日安心して通えるような施設の環境作りに努めます。
4. 利用者の自己選択、自己決定、自己実現を大切にしていきます。
5. 体力の向上と健康管理が出来るような支援を行います。
6. 家庭、関係機関との連携を図りながら利用者支援を行います。
7. 障害者への理解が得られるよう地域に開かれた施設を目指します。
8. 施設職員として必要な倫理・資質の向上を図ります。

◇ 「私はこう思う」、「私はこうしたい」、活動のいろいろな場面で、可能な限り利用者の意見や希望を尊重します。また、自己選択、自己決定、自己実現ができるような対応を心がけます。

◇ 住み慣れた地域での生活を想定して、家族と協力しながら、その人らしく豊かな生活ができるような支援を行っていきます。

◇ 日課の中に、体操、ストレッチ、ウォーキング、等の身体を動かす活動を取り入れ、体力維持が出来るような工夫をしていきます。



利用者の状況

男女・年齢

H29年4月現在

年齢	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	人数計
男	1	0	3	4	0	8
女	0	1	2	3	3	9
合計	1	1	5	7	3	17

障害の程度

重複障害(知的障害+他障害)

	最重度	重度	中度	軽度	人数計
男	5	3	0	0	8
女	3	5	1	0	9
合計	8	8	1	0	17

(他障害の内訳)

{
 ダウン症
 自閉症
 肢体障害
 聴覚障害

※ 職員構成 所長 1名 指導員5名



作業所の現状

入間市扇台福祉作業所は、市内在住の心身障害者の地域生活を支える日中の活動を行う場です。

心身に障害があり雇用されるのが困難な障害者に働く場を確保し、職業訓練や生活指導を行っています。

ノーマライゼーション理念の下、将来利用者がその人らしく豊かな地域生活を過ごせるようになることを目指しています。

利用者の現状は、通所年数が長期間に及ぶことから、年々体力低下とともに、日常生活動作全般に支援を必要とする人が多くなってきています。

このことから、平成29年度から作業別の班体制に変更して、利用者の現状にあった日課や活動を行っていき、1日を安全に安心してすごすことができる環境を整えきめ細やかな支援を行っています。

作業内容

製品ひとつひとつに利用者の社会参加への願いが込められています。

作業種目	加工品目	作業状況
製菓	クッキー・パウンドケーキ (イベント時のみ販売)	準備から片付けまで一人ひとりが自信と責任を持って生地づくりをしています。地域の方々からおいしいと言われることが一番の喜びです。
さをり	ベスト・小物他	自分のペースで織りあげたオリジナルの製品です。一段一段織りあがるのが楽しみです。
ハーブ製品	ポプリ・入浴剤	畑で栽培しているハーブを使って製品作りをしています。アロマセラピーに効果的です。
刺し子	ふきん	一針一針丁寧に刺した刺子には、真心がこもっています。仕上げはボランティアさんをお願いしています。
空缶処理作業	アルミ缶	地域の方々から回収させていただいたアルミ缶を仲間と協力してつぶしています。力仕事ですが楽しくやっています。
受注作業	箱組み立て グロメット入れ など	市内の電子部品会社から受注した箱を納期間に合うよう、また、つぶさないよう気をつけながら組み立てています。

- * 自主製品はどの製品もボランティアさんの協力を得て製品化しています。
- * 利用者の障害状況に合った作業内容と品質の向上に努めています。

生活指導

利用者の将来における生活を想定し、個々に応じた幸せな生活が送れるよう、家族の理解と協力を得ながら関係機関・ボランティア・専門家との連携を図り、日常生活の様々な場面を通して支援します。

1. 社会生活をしていく上において必要な生活適応力を身につけます。
(対人関係の持ち方・他者との協調性・生活に必要なマナー・社会のルール・自己抑制力・所有物の管理・整理整頓・余暇時間の過ごし方等)
2. 基本的な生活習慣の自立を図ります。
(食事・排泄・衣服の着脱・清潔・生活のリズム等)
3. 自分の要求を伝えたり、必要な支援が求められるようにします。
4. いろいろな体験を通して生活の幅を広げます。
5. 様々な活動を楽しみながら自己表現を豊かにし、情緒の安定を図り
6. 地域との関わりを持つことによって障害者への理解が得られるようにします。
7. 身体機能の維持・向上を図ります。
8. 大人としての自覚を持てるようにします。



日課

9 : 00	自力通所者 受入
9 : 30	送迎車到着
9 : 40	体操
10 : 00	作業
12 : 00	昼食 ・ 休憩
13 : 00	作業
14 : 50	休憩
15 : 10	掃除
15 : 40	降所準備
16 : 00	送迎車発車
	自力通所者 降所

課外活動（不定期）

- ・生 花
- ・朗 読
- ・調理実習
- ・体力づくり

年間行事等

個人面談

健康診断

夏季休暇(8月14日～17日)

作業所地域公開ふれあいデー(9月9日)

社会研修

避難訓練

市障害者スポーツ大会(平成29年度はお休み)

おさめの会

年末年始休暇(12月28日～1月4日)

地域行事での出店販売

福祉ふれあい祭り、久保稲荷まつり、入間万燈まつり

福祉大会、バリアフリー映画会、健康福祉センターまつり

行事等を通し、地域に開かれた作業所として
近隣の方々とのつながりを大切にしていきたいと
願っています。

